

それのとし一承平四年。

ある人一貫之。

すむたち一國司の館。國府にあり。國府は長岡郡日吉村。高知を去る東に二里。ふねにのるべきところ一下文によつて大津なるべきを知る。

なごころとすれは日記といふれをいしに  
とくんとしとありを我のうらまはし  
けつあまのいしをの目しめづるに  
これとていひしれはかきいへる人  
ふとせつと書はてしにゆきと  
なごけかきとてしとてしとてしと  
りとのふきとてしとてしとてしと  
わたりけりとてしとてしとてしと  
きとてしとてしとてしとてしと

一ぶらりてあけり

あざれ一鱈(魚肉の腐爛する意)に戯をかけた。

女二目一いつて國までとていひに  
うらけりとのふきとてしとてしと  
とてしとてしとてしとてしと  
ゆきとてしとてしとてしと  
ちとてしとてしとてしと  
わたりけりとのふきとてしと  
とてしとてしとてしと  
ゆきとてしとてしと  
ちとてしとてしと  
わたりけりとのふきと  
とてしとてしと